

普及活動情勢報告（平成30年5月）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

文旦授粉のための花粉精製を理解しよう

・・・第1回女性農業者勉強会・・・



4月23日に宿毛市宇須々木で、若手後継者のパートナーと女性農業者の勉強会を開催し、土佐文旦の授粉がなぜ必要なのか、花粉の精製方法と長期貯蔵のポイントについて講義しました。

参加者は文旦の品質を向上させるために、小夏の花粉を活用する必要性は理解していましたが、なぜ小夏なのかや精製方法のポイントについては十分な知識がなく、基礎から学ぶ今回の内容にとっても高い関心を示しました。

農業改良普及課は年間6回の勉強会を開催し、女性農業者の資質向上を目指します。

小夏花粉の精製作業をいつから準備するか

・・・J A高知はた大方支所柑橘部総会・・・



4月25日にJ A高知はた大方支所で大方柑橘部総会を開催しました。

農業改良普及課は、土佐文旦の幼蕾が直径5mmになってから開花までの日数が今年の気象条件では約18日間であったことを気象データと合わせて発表しました。

これまで土佐文旦栽培農家は文旦の開花を漠然と予測し花粉精製の準備を行っていましたが、開花日が分かれば余裕を持って小夏の花粉精製作業を行うことができるためこのデータに強い関心を示しました。

農業改良普及課では次年度も同じ手法で調査を行い、開花日までの日数の予測ができるよう取り組みます。

若い営農指導員を育てる

・・・J A幡東営農センター果樹担当者学習会の開催・・・



農業改良普及課は、5月11日にJ A高知はた幡東営農センターで、果樹営農指導員を対象に学習会を開催しました。

この取り組みは、J Aの果樹担当の営農指導員2名が昨年に、新任となった事をきっかけに、専門性を高めることを目的に始めました。

この学習会は今回が1回目の開催で、参加した営農指導員からは、「全く指導経験がなかったので現場での果樹農家との対応に生かされる」と意見が出されました。

農業改良普及課は、今後もJ A営農指導員の人材育成にも取り組んでいきます。

行っている農作業の意味を深く理解しよう

・・・第2回女性農業者勉強会・・・



5月16日に宿毛市宇須々木で、若手後継者のパートナーと女性農業者の勉強会を開催し、月ごとの主要な農作業の意味について考えました。

参加者は、指示されるままに農作業を行ってきたため、個々の作業について深く考える機会がなかったことから、作業の意味や作業には「旬」があることを説明すると、「作業の意味がやっと分かった。作業がこれからはもっと楽しく出来そう」、などの意見が出されました。

農業改良普及課は今後も勉強会を開催し、女性農業者の資質向上を目指します。

露地オクラの初期管理の徹底

・・・JA 高知はた宿毛支所オクラ部会現地検討会・・・



5月17、18日、宿毛市内3地区で露地オクラ現地検討会が開催され、生産者50名が参加しました。

J A 営農指導員からはトンネル除去後の追肥と病害虫防除、収穫開始までの注意事項について説明がありました。

農業改良普及課からは、昨年度のソルゴー植栽試験を踏まえ、土着天敵によるアブラムシ類対策について説明をしました。またガイドライン準拠県版G A P 基準書が示されたことについても情報提供しました。

今年のオクラ生産者数は96戸、面積は9.2haと若干減少しましたが、露地では有望な作物で、若い生産者も増えてきています。部会で実証した試験結果についても他のJ A 高知はた支所生産部会にも繋げて、オクラ生産を盛り上げていきます。

宿毛産野菜を使った料理教室

・・・宿毛4Hクラブ・・・



5月12日、宿毛市の施設「林邸」で、宿毛4Hクラブのクラブ員3名が、小学生8名を対象として宿毛産の野菜を使った料理教室を行いました。

宿毛4Hクラブからは、クラブ員が栽培している野菜についての説明を行い、その野菜を使用して、子供たちと一緒に調理を行いました。農業改良普及課は、事前の打ち合わせや当日の進行補助を行いました。

農業改良普及課は、今後も農業の魅力を広く知ってもらうため、食農教育に力を入れる宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。